

所沢市では、市独自で発達障害児支援政策 こども支援センター内に発達障害児エリアを開設



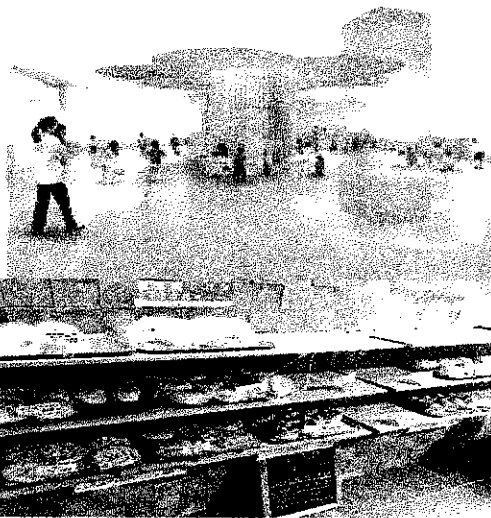
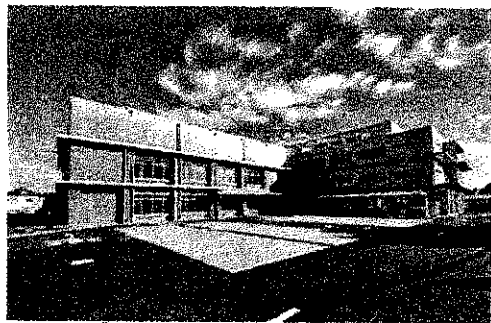
日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

三浦市議は、11月14日、15日に、尾道市の民生委員として行政視察で、埼玉県所沢市と朝霞市に行きました。所沢市では「所沢市こども支援センター」の視察。朝霞市では「家庭ごみの個別収集」についてヒアリングを受けました。どちらも先進的な取り組みがなされており尾道市でも検討をしていく内容が多くありました。

埼玉県所沢市こどもと福祉の未来館の概要

所沢市こどもと福祉の未来館は、平成29年4月開所の施設で、この施設は、地域福祉の拠点施設「地域福祉センター」と子育て支援・発達支援のための拠点施設「こども支援センター」で構成される複合施設でした。3階には所沢市社会福祉協議会

が入居しており、尾道市にある総合福祉センターの機能を強化した施設でした。複合型の施設ということで、中には福祉法人が活用しているパン屋や誰もが利用できるフリースペースも設置されており、体育館等の各



発達支援エリア「マーガレット」を設置

当館2階には「こども支援センター大地」を設置して、館内を二つに分けて、子育て支援エリア「ルピナス」と発達支援エリア「マーガレット」を運営してまいりました。特筆すべきことは、所沢市独自に年間1億4千万円の予算を組んで、発達障害児支援エリア「マー

ガレット」を運営しており、「年々、発達障害を持つ児童生徒が増加しており、市独自で18歳まで支援を行っていく必要を感じた」と説明を受けました。発達障害に関する相談や支援、療育するため、心理士、言語聴覚士、作業療法士、医師(非常勤)等のスタッフが配置されており、専門的な相談や療育の体制が作られています。

種社会教育施設も併設されています。休日には、毎週水曜日となっており、土日には子ども連れのお父さんも多く利用しているとの説明を受けました。相談機能も充実しており、障害者相談から生活困窮相談まで窓口が設置されており、様々な市民の声を専門員が相談を受け、市民の要望を実現する体制が作られています。

朝霞市では自宅までごみの収集に伺う『家庭ごみ訪問収集事業』を実施していました。

全国的に、ごみの訪問収集自治体、増加中です

埼玉県朝霞市は、人口約14万人で人口規模では尾道市に類似する都市でありましたが、尾道と違って毎年人口が増えている東京のベッタウン都市でした。朝霞市では、高齢や障害等により、ごみを集積所に持ち出すことが困難で、身近な人の協力を得られない世帯を対象に、自宅までごみの収集に伺う『家庭ごみ訪問収集事業』を実施してまいりました。対象者は、高齢者、障害者で、自宅からごみを持ち出すことが困難で、親類・知人・ホームヘルパー等の協力が得られない世帯が対象となっていました。毎週1回のごみの収集と同時に、安否確認も行っており、一人暮らしの高齢者や障害者の安心にもつながっています。説明を受けました。現在、訪問収集を行っている件数は全体で119軒と思いましたが、今後、高齢化に伴い増加していくことを想定されています。

12月議会日程 12月6日(金)11時から、共産党市議団(三浦・岡野)が一般質問、是非傍聴に!

三浦とおる市議の一般質問
1. 久保・長江・土堂小学校の統合問題について

岡野長寿市議の一般質問
1. 中学校給食改善
2. 後期高齢者保険、給食費無償化など

3 小学校統合問題は、三浦とおる市議が一般質問で、岡野長寿市議が文教委員会で質します。

12月2日(月)	13時半	本会議	
4日(水)	10時	一般質問	
5日(木)	10時	一般質問	
6日(金)	10時	一般質問	11時ごろ党市議
10日(火)	13時	総務委員会	
11日(水)	13時	民生委員会	三浦委員
12日(木)	13時	文教委員会	岡野委員
13日(金)	13時	産業建設委員会	
14日(火)	13時半	本会議	(閉会)